

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第38回● 世界戦総括

今年も世界戦が終わった。結果はともかく、まずは大会関係者ならびに日本選手団に感謝したい。こういう催しは開催すること自体重要である。2年後も無事開催されることを願う。(その前に来年のチーム戦か)さて、今回の大会もネットを観戦する事ができた。客観的に見て今回の世界戦を総括してみよう。

●QT

QTはATと違って規定人数の中に入ればOKという戦いである。つまり、1位であろうが4位であろうが関係ない。そうなるとうた戦い方が違ってくる。また、毎回QTからそのまま突っ走る選手が1人はおりの、そうい選手を見つければ醍醐味ではある。

今回は日本勢の期待が高かったが、2人通過はまずまずであろう。賀茂君は今回残念であったが、途中までトップを走っていたことを考えると、実力通りの結果は必ずしも出ないことがあるということであろう。

●AT

さあ、いよいよATである。今回から題数指定打ちが採用された。まずは打たれた珠型を見よう。

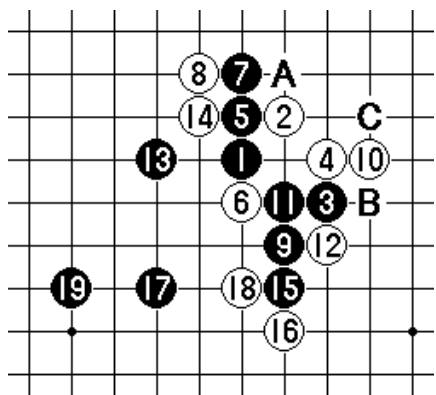
- ① 松月 九局
- ② 水月 八局
- ③ 花月 七局

全六十六局の中で最も打たれたのは松月だったが、それも天地止めではなく、桂馬掛かりや銀月共通が主であった。また、普段まず打たれない水月や花月が上位に入ってきたのは題数指定打ちならではの。珠型の種類も20種類と格段に増えた。瑞星が二局しかなかったのも特徴で、なるべく多くの珠型を打ちたいと言う

思いは各棋士共通ということだろう。水月や花月に代表されるように、題数が多い珠型が好んで打たれているのも、提示者(仮先)がなるべく多くの題数を打ち選択者(仮後)を悩ますのが作戦として有効と考えられたためであろう。

さらに、驚くことに疎星が一局もなかった。打ちすぎて飽きたためだろうか？ ATの中から注目の一戦を数局ご紹介しよう。

黒 ニクル 白 中村
黒 19 以下黒勝ち

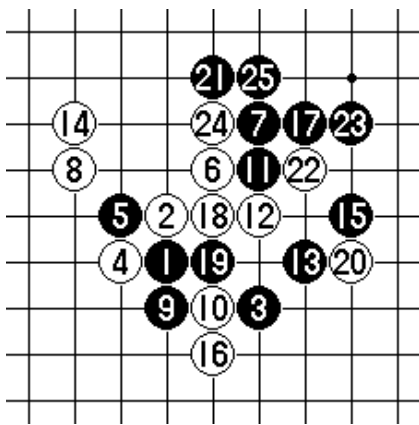


ニクル氏はチェコ代表としての枠参加で、AT 12名の下位であろう。実際、9位に終わっている。しかし、世界戦でこれまで負けたことがなかった中村氏を破つてしまったのが世界戦の怖いところでもある。中村氏としては2回戦でまったく相手の情報がないだけに、力を図り間違えた感もあるが、黒19という絶好の一手を打たれてそのまま寄り切られてしまった。

それと、本局は水月六題打ちであった。水月で六題も打てるのがまた驚きである。黒は5の他に7、11、A、B、Cを指定している。なるほど、どれも簡単に白有利とは言えない着手のようである。しかし将来、研究が進めば六題は無理、ということになるであろう。続いてご紹介したいのが、前回の優勝者である呉さんである。彼は今回、同じ局

面を数局打っている。

黒 コジン 白 呉
黒 25にて白投了

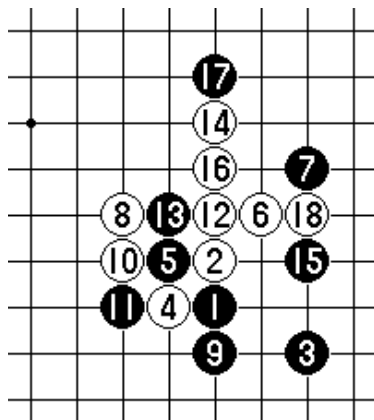


新月で黒5の切り違いは成立しないとの自信があったのだろう。白6から8は当然の一手である。しかし、黒9はおそらく研究の範囲外だったのだろう。白10と防ぎに回って以下黒に押し切られている。

これをうまく利用したのが岡部君であった。

黒 コジン 白 岡部
白 18にて黒投了

岡部君はコジンは必ずこのように打つてくると読ん

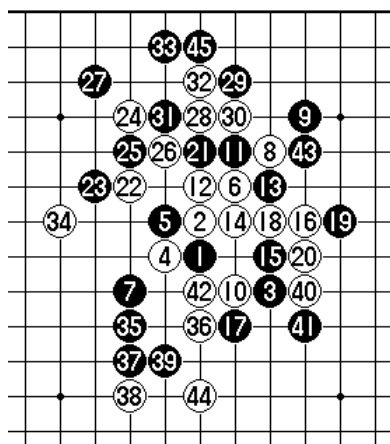


でいたのであろう。白10から打ち換えて、白14まで黒をけん制して良いという研究をしていたものと思われる。その結果、わずかに消費時間6分での快勝となった。こういう部分はA級リーグに良く似ている。研究をいかに掛けるか、いかに外すかが実際の勝負には大きな要素となるので、対戦順も実は重要である。

さらに、呉さんはしつこくこの作戦をかけた。

黒 スシユコフ 白 呉
黒 45にて白投了

優勝したスシユコフにも迷わずこの形を仕掛けた。

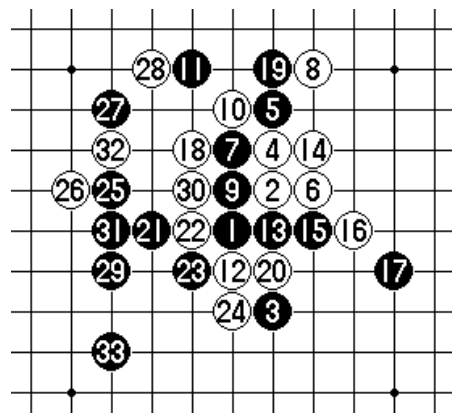


スシユコフは黒7を反対に止めた。これは当然で、ここからの白の作戦が勝敗を分ける。呉さんは白8と伸びて10に押さえたが、単に10の方が良かっただろう。スシユコフは黒11から白に暴れさせる作戦を取ったが、これが的中し、最後には自爆する形で呉さんの負けとなった。結局、呉さんはこの形での2.5敗が響き、6位に終わった。

最後に、中村・スシユコフの大一番をご紹介します。こう。

黒 中村 白 スシユコフ
黒 33にて白投了

嵐月黒5はもともと砂川さんが打ち始めた作戦で、それを吉澤さんが詳しく研究していた。おそらくスシユコフは詳しくは知らなかったであろうが、白8からはさすがと思わせる打ち方である。しかし、こういう戦いになると中村氏の方が



上だ。いつの間にかいい形になってくる。黒25と突き出した形は黒必勝であろう。このまま最後2局を勝つていれば大逆転だったのだが、最後に力尽きたのは残念だった。